

交付申請書及び請求書（個人事業主の方）記入例

(様式1)
 (独) 中小企業基盤整備機構 理事長 殿
 (特別利子補給制度事務局宛)

令和 3年 2月 10日

(申請者)

〒 104 - 0000 (建物名)
 住所 東京都 港区 虎ノ門〇-〇-〇 ××ビル

法人名 代表者名
 商号又は名称 中小商店 目署 中小 太郎
 (ゴム印可) (ゴム印不可)

電話番号 (携帯電話可) 03 - 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇 E-mail chusho@**.co.jp

特別利子補給助成金交付申請書及び請求書 (新型コロナウイルス感染症特別貸付に係る特別利子補給制度)

当社又は私は、新型コロナウイルス感染症の影響により売上高が減少しており、別紙2「申告書」のとおり、特別利子補給制度の対象となることから、無利子対象期間(最長3年間)の利子補給を申請するとともに、その支払いを請求します。

1. 別紙1「誓約・同意書」を確認の上、□にチェックを入れてください。

私は、別紙1「誓約・同意書」の誓約内容及び同意事項を遵守することを誓約します。

2. 借入を行った公的金融機関のいずれかにチェックの上、支店名までご記入ください。

借入先 公的金融機関名	<input checked="" type="checkbox"/> 日本政策金融公庫 中小企業事業 (<input checked="" type="checkbox"/>) 支店 事業
	<input type="checkbox"/> 日本政策金融公庫 国民生活事業 () 支店
	<input type="checkbox"/> 沖縄振興開発金融公庫 () 支店・本店
	<input type="checkbox"/> 商工組合中央金庫 () 支店・本店
	<input type="checkbox"/> 日本政策投資銀行 () 支店・部

3. 交付決定の上は、下記口座に無利子対象期間(最長3年間)の特別利子補給助成金を交付してください。

振込 口座 ※1	振込先 金融機関	虎ノ門	<input checked="" type="checkbox"/> 銀行	店番号	0 1 2	<input type="checkbox"/> 本店
			<input type="checkbox"/> 信用金庫	店名	虎ノ門	<input checked="" type="checkbox"/> 支店
	預金種別	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	信用組合	口座番号	0 1 2 3 4 5 6	<input type="checkbox"/> 出張所
	口座名義 ※2	フリガナ	名義人	チユウシヨウシヨウテン チユウシヨウ タロウ		
			(漢字)	中小商店 中小 太郎		

※1 借入金の返済口座をご記入ください。 ※2 申請者と同一名義の振込口座をご記入ください。

【金融機関記入欄】
 名寄番号: 12345678 部店番号:
 取引番号: 20201234

【事務局使用欄】

- 必ず黒のボールペン（消えないペン）でご記入ください。
- 記入内容の訂正は、訂正箇所を二重線で消してください。訂正印は不要です。

・申請書を記入した日付をご記入ください。

・事務局からの郵送物を受領することができる住所をご記入ください。

- ・法人名：屋号や商号、個人事業主の氏名をご記入ください。ゴム印可です。
- ・代表者名：個人事業主本人の自署をお願いします。ゴム印不可です。

- ・電話番号：日中に連絡可能な電話番号を必ずご記入ください。携帯電話可です。
- ・E-mail：連絡可能なメールアドレスをご記入ください。

・「誓約・同意書」（別紙1）をご確認の上、□にチェックしてください。
 ※□にチェックがない場合は、本制度の申請をすることができません。

- ・本制度対象の貸付を受けた金融機関の□にチェックを入れ、支店名をご記入ください。
 ※同時に複数の金融機関の借入について申請を行うことはできません。
 ※複数チェックをされた場合、本申請は無効となります。

- ・原則として、借入金の返済口座をご記入ください。
 ※商工中金で借入を行った方は、□商工組合中央金庫にチェックしてください。
 ※口座番号が0から始まる場合もそのままご記入ください。

- ・通帳等の記載のとおりにご記入ください。濁点・半濁点は1文字として扱います。
- ・促音（ッ）・拗音（ヤ、ユ、ヨ）はそれぞれ「ツ、ヤ、ユ、ヨ」にてご記入ください。
- ・中黒点（・）は使用できません。ピリオド（.）に置き換えてご記入ください。
- ・個人名は、姓と名の間に1字空けてください。
- ・口座名義が枠内（30文字）を超える場合は、冒頭から30文字までご記入ください。
- ・屋号や肩書が入る場合は、それぞれ1字を空けてください。
 (例) 中小商店 中小 太郎
 チユウシヨウシヨウテン チユウシヨウ タロウ
 (例) 中小商店 代表 中小 太郎
 チユウシヨウシヨウテン タ イヒヨウ チユウシヨウ タロウ

・名義人は、必ず申請者と同一名義としてください。

- ・借入先の公的金融機関が記入します。記入されているかご確認ください。
 ※部店番号は空欄の場合がありますが、申請者の方が記入する必要はありません。

手続き詳細は、特別利子補給制度ホームページ (<https://tokubetsu-riho.jp>)
 掲載の「申請の手引き」「申告書(別紙2)の記入方法」をご確認ください。



新型コロナウイルス感染症特別利子補給制度事務局
 0570-060515 (受付時間: 平日・土日祝日 9時~17時)

【別紙2】申告書C（業歴1年1か月以上の個人事業主の方）記入例

・「法人が個人事業主か」、「業歴が1年1か月以上か否か」等により様式が異なります。また1年以内に合併や店舗拡大を実施した方など、**前年（前々年）同期の売上高と比較することが馴染まない方は「申告書D」を使用することもできます。**

・裏面「日本標準産業分類（中分類番号）表」の中から**貸付申込時点**で該当する業種を選び、その**2桁の番号**をご記入ください。
 ※複数の事業を行っている場合、主たる事業に該当する業種の番号をご記入ください

・貸付申込時点の従業員数をご記入ください。
 ※「常時使用する従業員」は、「申告書（別紙2）の記入方法」をご参照ください。

・裏面「日本標準産業分類（中分類番号）表」に記載されている「小規模企業者」に該当する「常時使用する従業員数」と比較してください。
 ○要件に該当する場合は、「小規模企業者に該当します。」にチェックし、**3. 申告欄**に進んでください。**2. 売上高減少判定は不要**です。
 ○要件に該当しない場合は、「中小企業者等に該当します。」にチェックし、**2. 売上高減少判定**に進んでください。

・特別貸付申込月として、以下のいずれかの日が属する月をご記入ください。

- 借入申込書を**記入した日**
- 借入申込書を公的金融機関や推薦団体(マル経・沖経・衛経の場合)に**提出した日**

・対象年月：売上時期①～④から売上高を比較する基準となる時期を選び、その対応する年月をご記入ください。

※最近1か月とは**特別貸付申込月の前月**のことを指します。この他にも、最近1か月として使用できる場合があります。「申告書(別紙2)の記入方法」をご参照ください。

※④は**令和2年12月21日以降に貸付を受けた方のみ**選ぶことができます。

※売上時期の①～④に○やチェック等は不要です。

(例)	2021年2月5日に特別貸付の申込をした場合の対象年月		
① 最近1か月	2021年 1月	④ 最近1か月から遡った6か月間の平均	2020年8月～2021年1月
② 最近1か月の翌月	2021年 2月		
③ 最近1か月の翌々月	2021年 3月		

・売上高(円)：対象年月に対応する売上高を1円単位（税抜）でご記入ください。

・比較する売上時期：ステップ1と比較する売上時期として、ステップ1の対象年月の前年同期・前々年同期・3年前同期のいずれかにチェックしてください。

※**3年前同期は令和3年1月22日以降に貸付を受けた方のみ**選ぶことができます。

・比較する売上高(円)：比較する売上時期に対応する売上高を1円単位（税抜）でご記入ください。

・計算式のAにステップ1で記入した売上高（A）、Bにステップ2で記入した売上高（B）を代入し計算の上、**小数点以下切捨て**として、ご記入ください。

・申告書作成日付をご記入の上、**個人事業主本人**が自署をお願いいたします。

【別紙2】申告書C（業歴1年1か月以上の個人事業主の方）

1. 規模判定※1（以下太枠に記入）

業種番号※2 (2桁の中分類番号)	常時使用する従業員数
7 6	6 名

※1 特別貸付申込時点の情報をご記入ください。
 ※2 業種番号の記入方法
 裏面「日本標準産業分類（中分類番号）表」の中から、該当する2桁の番号をご記入ください。

裏面「日本標準産業分類（中分類番号）表」に記載されている「小規模企業者」に該当する場合の「常時使用する従業員数」と比較し、「小規模企業者」の要件に該当するかご確認ください。

<input type="checkbox"/> 小規模企業者に該当します。 3. 申告欄に進んでください。(2. 売上高減少判定を記入いただく必要はありません。)	<input checked="" type="checkbox"/> 中小企業者等に該当します。 2. 売上高減少判定に進んでください。
---	--

2. 売上高減少判定（以下太枠に記入）

ステップ1：特別貸付申込月を記入、売上時期①～④からいずれかを選び、その対象年月、売上高を記入

特別貸付申込月(西暦)	売上時期	対象年月(西暦)	売上高(円)
特別貸付申込月※3 2021年 2月	① 特別貸付申込月の最近1か月 ② 最近1か月の翌月 ③ 最近1か月の翌々月 ④ 最近1か月から遡った6か月間の平均(最近1か月含む。)※4	①～③の場合 2021年 1月 ④の場合 年 月 ~ 年 月	A. 894,798円

※3 公的金融機関や推薦団体に特別貸付の申し込みをした日が属する月
 ※4 令和2年12月21日以降に貸付を受けた方のみ選択可

ステップ2：ステップ1と比較する売上時期のいずれかをチェックし、その売上高を記入

比較する売上時期	比較する売上高(円)
ステップ1の対象年月の <input checked="" type="checkbox"/> 前年同期 <input type="checkbox"/> 前々年同期 <input type="checkbox"/> 3年前同期※5	B. 1,245,723円

※5 令和3年1月22日以降に貸付を受けた方のみ選択可

ステップ3：売上高減少率の計算

計算式 (上記のA、Bを代入) $\{(B-A) \div B\} \times 100 =$	減少率 (小数点以下切捨て) 28%	申請要件を満たす減少率 中小企業者等 20%以上
---	--------------------------	--------------------------------

3. 申告欄

申告欄

上記のとおり、申告します。

令和 3年 2月 10日

(自署) 氏名 **中小 太郎**